

# 秋の交通安全 県民総ぐるみ運動

## 県内の交通事故

平成28年7月末(1月1日~7月31日)

### 運動の基本

#### 子供と高齢者の交通事故防止

- ドライバーは、子供やお年寄り、障がい者等を見かけたら、一時停止や徐行など思いやり運転を心がけましょう。
- 家庭や学校等、地域ぐるみで通園・通学時の交通安全指導や保護・誘導活動を促進しましょう。
- 高齢者は加齢による身体能力の低下を認識し、慎重な運転、安全な歩行を心がけましょう。

#### 運動の重点

夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

#### ドライバーのみなさんへ

- 夕暮れ時や夜間は、歩行者・自転車の動向に注意し、安全運転に努めましょう。
- 夕暮れ時は、早め点灯を実践しましょう。
- 夜間走行時は、「ライト上向き」が基本です。



#### 歩行者、自転車のみなさんへ

- 夜間の外出は、明るく目立つ色の服装と反射材用品等を着用しましょう。
- 道路を横断する時は、安全をよく確認しましょう。
- 自転車の無灯火走行は大変危険です。夜間の前照灯点灯を厳守しましょう。



#### 運動の重点

後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

平成27年中、県内の四輪乗車中の死者は28人。このうち、10人がシートベルトを着用していませんでした。

この10人中9人は、シートベルトを着用していれば、生命が助かったものと思われまます。



#### ●シートベルト着用状況調査結果

対象	全国平均	宮城県	順位
運転席	98.4%	99.4%	5位
助手席	94.6%	97.9%	3位
後部席	35.1%	31.7%	34位

※平成27年10月1日~10日  
一般道での調査  
※警察庁・日本自動車連盟(JAF)  
合同調査

### 7月末現在の交通事故発生状況

区分	発生件数	死亡事故		負傷者		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	4,328	34	37	346	5,073	5,419
前年	4,811	31	31	383	5,665	6,048
増減数	-483	3	6	-37	-592	-629
増減率	-10.0	9.7	19.4	-9.7	-10.5	-10.4

#### 歩行者の死亡事故が約4割

歩行者が関係する死亡事故は13件14人(前年比±0件+1人)で、そのうち7人が高齢者です。

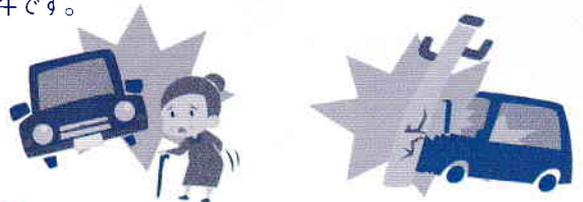
状態別では、横断中が7人、路上作業2人、路上遊戯1人、路上横臥等が4人で、死者14人中9人に何らかの原因が認められました。

#### 高齢者が死者の約半数を占める

交通事故死者数37人のうち、65歳以上の高齢者は17人(前年比+5人)で、全体の45.9%を占めています。

#### 単独事故が増加

車両単独による死亡事故は10件11人発生し、前年比4件5人増加しており、事故類型は工作物衝突6件、路外逸脱3件、その他1件です。



#### 運動の重点

飲酒運転の根絶

### 酒飲み運転追放3ない運動

1. 運転するときは酒を飲まない
2. 酒を飲んだら運転しない
3. 運転者には酒を出さない

